

平成28年5月19日定例教授会議事抄録

出席者

高見澤所長

板倉、池本、板倉、大木、黒田、菅、園田、高橋、田中、中島、名和、平勢、柗屋、松田、安富の各教授

李、池亀、小寺、鍾、塚本、古井、森本の各准教授

海外渡航者

佐藤教授、馬場、シルツの各准教授

議事

4月14日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 各種研究助成等の募集について、資料P6のとおり4件。

報告事項

2. 所長報告

高見澤所長から、以下の会議等について報告があった。

1) 科所長会議(4月19日)

①若手研究者の自立支援及び雇用安定化支援

資料P9～11に基づき、自立支援及び雇用安定化支援の制度について報告があった。

②東京大学ビジョン2020のフォローアップ

東京大学ビジョン2020について、示されたビジョンに対してフォローアップを行う旨報告があった。

③学務システムにおけるUTokyo Accountの利用

資料P12に基づき、学務システムにおいてUTokyo Accountを利用することとなる旨報告があった。

④平成28年度総長補佐の担当事項

資料P13～19に基づき、平成28年度総長補佐の担当事項について紹介があった。

⑤第5回東京大学伊藤国際学術研究センター(IIRC)会議の企画公募

資料P20～24に基づき、該当する企画がある場合は、本制度の活用を検討していただきたい旨説明があった。

⑥平成28年度功績者顕彰「東京大学稷門賞」候補者の推薦

資料P25～32に基づき、候補者がある場合は推薦書等を作成のうえ、所長宛

に提出いただきたい旨説明があった。

⑦平成28年度「東大の研究室をのぞいてみよう！～多様な学生を東大に～」プログラムの実施

資料P33～37に基づき、プログラムの実施予定および平成27年度の実施報告の説明があった。本年度、協力が可能な教員は申し出ていただきたい旨説明があった。

2) 予算委員会（4月19日）

資料P38～57に基づき、予算委員会に企画調整分科会を置くこととなること、分科会委員は部局長が2名を推薦し、うち1名を総長が指名することとなる旨説明があり。現在、部局からの推薦者を検討しているので、声をかけた際は協力願いたい旨要請があった。

3) 拡大入試監理委員会（5月17日）

資料P58に基づき、同会議での報告事項の概要について報告があった。

4) 科所長会議（5月17日）

① 学内外諸情勢

「指定国立大学法人制度」創設の動きについて、報告があった。

② 東京大学スポーツ先端科学研究拠点（仮称）の設置

東京大学スポーツ先端科学研究拠点（仮称）の設置が検討されている旨報告があった。

③ 東京大学教員の新たな人事制度の取扱いについての改正

平成28年6月1日から部局内クロス・アポイントメント制度が実施される旨報告があった。

④ 西千葉職員宿舎の廃止

西千葉職員宿舎の廃止について報告があった。

⑤ 平成28年度夏季における期末・勤勉手当等

資料P61に基づき、平成28年度夏季における期末・勤勉手当等について、報告があった。

⑥ 「室等」の構成

資料P62～64に基づき、本年度の「室等」の構成の説明があった。

⑦ 学術システム研究センター研究員候補者の推薦

学術システム研究センターにおいて、人文学専門調査班の研究員候補者の推薦を募集しているので、ポータルサイトやホームページを確認願いたい旨説明があった。

⑧ 科学研究費助成事業についての意見募集について

所長から、現在「科学研究費助成事業（科研費）審査システム改革2018」に関する意見募集（パブリックコメント）が実施されているので、意見を出していただきたい旨説明があった。

7) 教員の海外渡航（報告）

総務委員会にて資料P 6 5～6 7のとおり 1 1 件を承認した旨報告があった。

8) 委員等の応嘱について

所長から説明があり、資料P 6 8のとおり 4 件を承認した旨報告があった。

9) 非常勤講師等の応嘱について

所長から説明があり、資料P 6 9のとおり 2 件を承認した旨報告があった。

10) その他

①平成 2 8 年度科学研究費助成事業について

所長から、資料P 7 0に基づき、平成 2 8 年度の科学研究費助成事業について、本研究所教員及び日本学術振興会特別研究員の内定状況の報告があった。

3. 各委員会報告

1) 財務委員会

特になし。

2) インフラ委員会

高橋委員長から、研究室を移る場合は新旧 2 部屋を使う期間が生じることから、部屋数が不足する。2 部屋を占拠するのは可能な限り短い時間で願いたいとの要請があった。

続いて、先月の教授会で高見澤所長から要請のあった、ASNET 教員のためのスペースの確保について検討した結果として、現在、恒常的に使用されていないセンターの部屋を提供してはどうかとの提案があった。

3) 情報・広報委員会

池本委員長から、以下 6 点の報告等があった。

① すでに周知済みの件であるが、クラウド版のウイルスバスターの更新をまだ行っていない人は必ず更新願いたいと要請があった。

② 公開講座の予定について、夏の公開講座は 6 月 3 0 日（木）に実施し、講師を高橋教授にお願いすることが決まったこと、秋はホームカミングデーの日に行うこととし、担当教員は塚本准教授と他 1 名で調整中である旨報告があった。

③ キャンパス無線 LAN のシステムが、utroam から eduroam に変更となっている旨報告があった。eduroam は学内で利用できる他、国内他大学や世界の主要な大学とも相互利用が可能であることから、活用いただきたいこと及び来訪者（外国人含む）にも東京大学で eduroam が利用可能であることを紹介していただきたい旨説明があった。

④ ロビーの展示物について、現在のものと違うものの展示を検討しているので、絵や写真など、提案や企画がある方は申し出ていただきたい旨要請があった。

⑤ 研究会の活動が増えて案内用看板が不足気味であるので、エレベータ前の柱に掲示板を増設できないかを検討中である旨報告があった。

⑥ 5 月 2 5 日（水）に中学生のグループが研究所見学に来所予定である旨報告があった。

4) 研究企画委員会

梶屋委員から、資料P 7 1に基づき、「平成28年度国際短期プログラム申請書」について、報告があった。

5) 東洋学研究情報センター委員会

平勢副センター長から、以下3点の報告等があった。

① 資料P 7 2～7 3に基づき、平成28年度センター機関推進プロジェクト採択(案)について提案があった。各プロジェクトは、例年同様4月から経費の執行が可能なものとして承認願いたいこと、このことは財務委員会とも調整済みであるとの追加説明があった。所長からも本件を審議事項として扱う旨の発言があり、審議の結果、承認された。

② 資料P 7 3に基づき、センターの平成28年度予算案について、配分された630万円を踏まえて組み直したものであり、追加分の主な用途は成果の公開のための出版事業およびセンター機関推進プロジェクト費に充てた旨説明があった。

③ インフラ委員会から本日報告のあった、現在、恒常的に使用されていないセンターの部屋をASNET 教員が使用することについて、センター委員会としてはスペースの使用について了承する方向で検討したが、借用の手続きや権利の異動については検討が及んでいない旨報告があり、まずは、センターのスペースをASNET で使用することについて審議していただきたい旨提案があった。

なお、本来の手続きは、インフラ委員会の報告・提案を受けた後にセンター委員会で審議・承認を経て、次の教授会に諮り、全体の合意とすべきところであるが、期間を要してしまうことから、総務委員会にも相談しながら、使用を承諾する方向で検討を進めさせていただき、本日の教授会へ提案し、審議いただくこととなった旨経緯説明があった。所長からも、ASNET 教員の研究のアクティビティも考慮し、異論がなければ本日審議し、使用を認めたいこと、また、センターから所長が部屋を預かり、所長からASNET に貸与する形で使用を認めることについて提案があり、審議の結果、承諾された。

6) 図書委員会

安富委員長から、以下2点の報告等があった。

① アジア新図書館に関することは、委員会の規模を超えて議論したいと考えていること、そのため、准教授や図書職員にも参加いただき図書委員会から現状説明をし、自由に意見交換や議論を行う場として次回教授会終了後に懇談会を開催すること、また実質的な議論を行う場として懇談会の翌週である6月14日(火)に拡大ワーキングを開催することを予定している旨説明があり、教員へ参加の要請があった。

中島副所長からも、懇談会や拡大ワーキングの場でなくても良いので、意見やアイデアのある方は、随時、意見を出していただきたいとの要請があった。

② 資料P 7 4に基づき、所在不明の図書資産があることが判明したので、心当た

りのある方は申し出でいただきたい旨要請があった。

7) その他

特になし

4. その他

- 1) 第2期法人評価担当の菅教授から、法人評価・現況調査表について説明があった。
- 2) 中島環境安全衛生管理室長から、6月6日(月)の13時より産業医による巡視および部局長パトロールが実施される予定である旨報告があった。
- 3) 高見澤所長から、平成29年2月の教授会は、ある研究科の入試と日程が重なることになるが、教授会の日程変更は行わない旨説明があった。
- 4) 土田事務長から、例年同様、本部入試課より平成29年度入試に係る記者発表にて大会議室の借用依頼が来ている旨報告があり、本件は全学的な重要行事であるため、従前通り、貸与を承諾することとしたいこと、具体の貸与日については追ってメールにて通知すること等報告があった。
- 5) 池本ASNET運営委員会委員から、本日夕刻に開催するASNET・GJS共催セミナーについて案内があった。

審議事項

5. 教員の海外渡航について

該当教員から説明があり、資料P79～80のとおり8件を承認した。

続いて、高見澤所長から、名和教授が来年6月10日から6月25日にかけて海外出張の希望がある旨の説明があり、その後、名和教授本人から、日程がゼミ開講日と重なることや先方との調整の事情もあり、この時期に承諾をいただきたいこと、先方との調整によっては出張不要になる可能性もある旨の説明があり、承認された。

6. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員から説明があり、資料P82～84のとおり5件を承認した。

7. 特任研究員の採用について

雇用責任者の教授から、別添資料に基づき、採用予定者について説明があり、承認された。

8. 学内委員の委嘱について

高見澤所長から、任期満了等に伴い、資料P85のとおり学内委員を交替・留任し、担当いただきたい旨説明があり、承認された。

9. 所内委員会について

高見澤所長から、資料P86に基づき説明があった。

10. 東大基金の受け入れについて

高見澤所長から、資料P87に基づき説明があり、承認された。

なお、寄付者が個人の場合は、特段の事情がない限り氏名は資料に掲載しない取扱いとする旨の説明があり、併せて承認された。

11. 研究協力者の申請について

該当教員から、別添資料に基づき説明があり、承認された。

12. 評価委員会について

中島副所長から、資料P 88～90に基づき、「東京大学東洋文化研究所評価委員会内規」を制定したい旨提案があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

続いて、内規の制定を受け、「東京大学東洋文化研究所教員評価に関する申合わせ」を制定したい旨提案があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

13. 平成27年度決算について

松田財務委員長から、資料P 91～97に基づき、平成27年度の予算執行状況、収支状況、預託金・剰余金の現在高、間接経費の収支状況等について説明があり、次回教授会にて再度審議をしたうえ、確定することとした。

14. 平成28年度予算配分案について

松田財務委員長から、資料P 98～100に基づき、昨年度末の教授会で承認された個人研究費の追加配分を加え、前年度決算に基づく調整等を加えた配分案について説明があり、次回教授会にて再度審議をしたうえ、確定することとした。

15. 教員人事について

新世代アジア選考委員長から、前年度に応募を募っていた件について、年度が変わったが引き続き受け付けている。改めての推薦依頼の文書は発出しないので、推薦のある方は、6月3日（金）までに推薦願いたい旨の説明があった。

16. その他

研究員のコピー機利用について

松田財務委員長から、研究員から所内でコピー機を利用したいとの要望があったことを受け、検討した結果、研究員にはコピーカードを用いるコピー機の利用を許可すること、基本的にはスキャンデータをUSBメモリーに保存することで対応してもらい、コピーが必要な場合は、コピーカードは研究員個人には配付せず、必要に応じて受入教員に追加のコピーカードを貸与し、教員の管理のもとで利用を認めること。利用料金はコピーした枚数に応じて課され、受入教員が個人研究費により負担すること、以上の取り扱いとしたい旨提案があり、審議の結果、承認された。

このことを受け、高見澤所長から、コピー機を利用できる者が増えると、コピー機が今までよりも混雑することが考えられることから、1か所に集中しないようコピー機設置場所が複数あることを周知すること、混雑時や急ぎの方への譲り合いを促すこと、コピーが身近になることでうっかり違法なコピーを行うことのないよう著作権法への注意を促すことを、コピー機の利用方法とあわせて研究員へ周知するよう要請があった。

以上